

# HANA NOGEE



協同ネットとののげ青の共催企画

## 韓国の若者とワークショップを行いました!!

韓国にあるハジャセンター（ソウル市青少年職業体験センター）の若者たちとの交流プログラムをのげ青で開催しました!

6月月末に韓国のハジャセンターの若者がのげ青にやってきました。今回のプログラムは昨年実施したハジャセンターへのスタディーツアーに参加した大学生ボランティアメンバーが、ハジャセンターの若者の『持続可能な社会を作るにはどうすればいいのか』という考え方に触れ、自分たちがこれから生きる社会をどうしていくか考えたことをきっかけに今回、協同ネットとののげ青の共催で開催しました。交流プログラムのメインは持続可能な社会づくりを実践するための自然素材を用いたワークショップです。

ピザやパンなどを焼くことができるアースオーブンづくり、カフェココイルのラウンジスペースのストローベールベンチづくり、カフェココイルの内装の土壁づくり、計3つのワークショップを行いました。これらに用いられた材料のほとんどは自然素材であり、使うことが無くなったとしても土に戻すことができます。まだ完成途中であるため、あと2回のワークショップを行う予定です。ストローベールベンチづくりに参加したメンバーからは、『ワークショップの作業を通して、持続可能な社会という言葉が身近なものとなった』という感想ができました。実際に自分の体を動かすことによって、自分にとっては関係のないことが自分自身の身の回りのことに結びつきます。そして、韓国のハジャセンターの若者と共通の体験をし、同じ時間を過ごすことによって、これからの自分の暮らし、生き方をどうしたいか一緒に考えていける仲間が増えました。のげ青を利用する若者たちにとって、社会がより身近に感じられるプログラムを今後も実施していきます。

ハジャセンターとは韓国ソウルの青少年施設。学校外の学びを実践する「代案教育」の場として、青少年、若者たちが今の社会の在り方に疑問を呈し、消費し続けるばかりでない持続可能な生活、社会の実現をテーマとした活動を行っている。



## ココイル だより

### のげ青カフェ・ココイル 再始動!

社会とつながるきっかけを失っていた若者たちが中心になり、昨年ののげ青内につくられた「のげ青カフェ・ココイル」。働く場づくりを通して、若者たちがここに居ていいなと思える居場所、仲間関係を育みました。今年度は本館2階の食堂から1階のはなれに場所を移して、昨年度関わったメンバーを中心に準備を進め、7月からアットホームな空間で再始動しています。カフェの企画・運営といった実際の活動や地域との交流を通して若者が地域、そして社会とつながる拠点づくりを目指しています。若者が主体的に運営に携わる活動にメンバーの一員として参加したい方は、のげ青までお問い合わせください。



## のげ青の 日常

### のげ青の新たなメンバー

新年度が始まりいつものメンバーに加えて、4月以降から新しいメンバーの来館も増えています。今までフリースペースで皆と一緒に活動していたガクボラですが、新たに5人のニューフェイスが登場しました。その誰しもが、それぞれの長所を持った人達ばかりです。今までのガクボラメンバーも変わらずに来館しているので、まだまだ話がでてこない!というメンバーがいたら気軽に話しかけてみてくださいね。のげ青スタッフ紹介ボードにも、個々のプロフィールが随時追加されていくので楽しみに。

### のげ青掲示板

■ アニュアルレポートが完成しました  
平成27年度の活動をまとめた冊子「アニュアルレポート2015」が完成しました。本館1階受付にて無料配布していますのでぜひご覧ください。

■ のげ青緑日の開催について  
夏の恒例お祭り行事・のげ青緑日が今年も開催されます。夏休みの締め括りとしてののげ青でみんなと一緒に楽しみましょう!

日時: 2016年8月27日(土) 11:00-17:00  
場所: 野毛青少年交流センター

■ トライアングルセッション開催について  
ノゲセイトライアングルでロング/ソーシャルコースに参加したい若者が、プロジェクトの提案をしようとするトライアングルセッションが開催されます。興味のある若者は奮ってご参加ください!

日時: 2016年9月18日(日)  
場所: 野毛青少年交流センター  
本館1階(予定)

■ 別館改修工事のお知らせ  
別館リニューアルに伴い以下の日程で改修工事を行います。ご迷惑をおかけしますがご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

改修期間: 2016年9月5日 - 12月5日  
改修場所: 野毛青少年交流センター 別館  
※ 改修期間中には工事の進捗により臨時休館となる場合があります

世田谷区立  
野毛青少年交流センター

〒158-0092 東京都 世田谷区 野毛 2-15-19  
TEL 03-3702-4587 / FAX 03-6809-8739  
mail nogeisei@nogeisei.jp / twitter @nogeisei\_youth  
https://www.facebook.com/nogeisei0510

のげ青 Facebook ページ 随時更新中!  
QRコードからアクセスしてみよう!

## ガーデンプロジェクト 進行中!

作物を作るスペース=ガーデンベッドを6カ所整備し、レタスや、ルッコラ、エンドウマメなどの作物を育て始めています。庭で作った野菜はカフェココイルのメニューでの活用も視野に入れています。韓国ハジャセンターの若者たちとの交流ワークショップで制作した、自然素材を用いたアースオーブン、ストローベールベンチも一体のものとしながら、これからの暮らしや生き方を見つめている場となるよう、若者たちが歩みを進めています。のげ青ガーデンプロジェクトに今後注目ください!



みんなで作り上げたガーデンベッド。素材として使われている竹や土を整えるためのウッドチップなどは、千葉県・南房総へ若者たちが手に入れてきた資材が使われています。

## のげ青の人々。

ボランティアスタッフ 高橋 由香さん

のげ青には多様な年代が集まり、朝から晩までその時々に出会った人たちと自然に、上手に交流しています。様々なイベントや企画が溢れていて、楽しいアイデアややりたいことがいっぱいある若者、頑張っている姿、それを支援しているスタッフの方々を見てると、こちらもワクワクしてきて応援したくなります。そんな活気のあるのげ青の活動のお役に立ちたいと思っています。

※ ボランティアスタッフについて  
ボランティアとは「ボランティア」と「アルバイト」とを掛け合わせた言葉です。のげ青では地域の方々からボランティアスタッフに支援されながら様々なプロジェクトを展開しています。高橋さんの他にもたくさんのボランティアスタッフの方々がのげ青で活躍しています!



ボラバイトの高橋です。  
趣味はスクューバダイビング!  
沖縄が大好きです。

## ノゲセイトライアングル

「やってみたい」の一言から始まる若者たちの自主企画プロジェクト「ノゲセイトライアングル」。4月のキックオフセッションを経て様々なプロジェクトが企画・実施されてきました。ここではそのプロジェクトをご紹介します。

### Sヨガでリラックス!

身体をやわらかくしたい! そんな思いからスタートしたヨガの企画でしたが、当日は約10名が集まり賑やかな時間となりました。その日初めてののげ青を利用した人も参加し、身体を動かすことで今まで以上に簡単にコミュニケーションを取ることができたと感想が聞かれました。

### S新たなスタートを応援しよう! お花見!

今年初の企画として、みんなの「今年こそ1年に1回は!」という言葉を聞き合い、4月から新たな生活が始まるお互いを応援する企画が行われました。企画した若者からは「今まで自分では考えられなかったけど、これをきっかけにみんなを支える側にもなりたい」という言葉が聞かれました。



即興演劇のワークショップの様子

### S即興演劇 ワークショップ

「演劇をやったことのない人も、みんなでやれば怖くない!」を標語に開催しました。参加者からは「みんなの表現が自由でよかった。小学校の学芸会で失敗してトラウマがあったけど、すんなり受け入れられて楽しかった」という感想が出るほど、終盤、賑やかに終わりました。

### ノゲセイトライアングルの2つのコース

ショートコース  
のげ青に集まる中高生や若者たちが中心となり、フリースペースでやりたいことを、学生ボランティアメンバーと一緒に実現して行くプログラム。月に1回実施する「月一企画」で来月の予定を話し合い、チームをつかってその企画を実現し、その内容や感じたこと・考えたことなどを翌月の月一会議の場で発表・共有します。

### Lロング・ソーシャルコース

のげ青に集まる中高生や若者たちが、自分たちでやりたいこと・短期間では実現が難しいような企画を、少し時間をかけて形にして行くプログラム。年に2回の「トライアングルセッション」でののげ青の仲間に向けて発表を行い、月に1回の「代表者会議」では進捗状況や感じたこと・考えたことを共有して、チーム同士で刺激し合いながらお互いの企画を進めていきます。

フリースペースでの月一会議の様子

### Lのげ青いきものがかりプロジェクト

デングの飼育や、夏の虫の標本作成、地域のNPOの協力の下で多摩川で釣りをするなど、生き物について幅広く体験し、命の尊厳について考えるプロジェクト。さらには、いきものを通して、違う考えや思いを共有しながら、食や環境、自分たちの生活、地域まで広がっていきまます。

### Sのげ青でお泊りをしよう!

今年度から宿泊事業がスタートしたのげ青に早速泊まってみよう!と企画が立ち上がりました。中学1年生から大学生まで幅広い世代が参加し、料理づくりやレクリエーションを通して交流を深めました。企画を立てた若者からは次回からもっと計画をしっかり立てて、より面白いものにしてほしいと意気込みが語られました。

### Lのげ青防災プロジェクト

4月の熊本地震の発生を受け、首都圏でいつ発生してもおかしくない震災にみんなが備えていくことを目的としたプロジェクト。昨年度から身の守るための知識をみんなを中心に、震災を乗り越えていける地域づくりをめざして共有したり、震災を乗り越えていける地域づくりをめざしたワークショップの開催を計画中です。

### S哲学をしよう!

「友だち」「ゲーム」「恋愛」など、毎回テーマを設定し語り合う場。小学5年生から30代の若者まで、世代も背景も違う十数名が参加。「何を話しても大丈夫」という空気が広がり、一人ひとりが感じたことを出し合いながら深く語り合える場。

### Lソーラーパネルプロジェクト

福島県の被災地訪問や、韓国ハジャセンターとの交流からヒントを得て企画したプロジェクト。エネルギー問題の歴史やソーラーパネルに関する自主勉強会を開催したり、のげ青での活用方法を検討している。また、講師を招き、実際にソーラーパネルをつくるワークショップを開催し、これらを通してこれらの暮らしや生き方を考えていきます。

### S18歳選挙権勉強会

選挙権が18歳に引き下げられ、7月の参議院選挙が初年度となるメンバーから「なにも分らない不安だ!」という声から勉強会を行い、各党の公約をまとめることになりました。メンバーから「今まで何を見て判断すればいいのか分からなかったけど、その不安が解消できた」と感想が語られました。

### Lココカラ演劇プロジェクト

中高生や若者が演劇を通して自分を表現していくプロジェクト。既存の演劇をなぞるのではなく、メンバーたちが今感じていることや考えていることをもとに、「現在の私たちが」をテーマにしたオリジナルの演劇をつくり、「自分のコトバ」を獲得し、同世代に向けて発表していくことで、それを「自分たちのコトバ」と広げていくことを目標としています。

### S中間テスト勉強会

新中学1年生のはじめての中間テストで不安だ、という声から企画がスタートしました。中学1年生を中心に高校生や大学生、浪生も参加しました。お互いに教えあったり、英単語の語源など豆知識を盛り込んで楽しんだり賑やかに開催されました。メンバーからは友達同士、多世代で教え合うことが新鮮で楽しかったと感想が語られました。



ソーラーパネルプロジェクトでの勉強会の様子。今回は「ソーラー・エネルギー・カンパニー みんな電力」の方々に来てもらい、ソーラーパネルについて学びました。

### プロジェクトメンバーの一言 清水里栄さん

のげ青いきものがかりのプロジェクトリーダーと、ガクボラとして各プロジェクトのサポートをしている清水里栄さんにノゲセイトライアングルについて聞きました。

いきものがかりは、とにかく自分がやりたいと思ったことをプロジェクトとして立ち上げました。「いきものにすることをなにかやろう!」って大真面目に言える場はこれまでもありませんでした。私にとってののげ青は貴重な場所だなんて実感した瞬間です。大学で「一緒に今から河原にいきものを捕まえに行こう」とはなりません。ましてや高校時代は受験競争にふりまわされていて、いきものが好きだということも忘れていたくらいです。間違いなく、大学とか高校とかの場で言っても動くことなかったことが動き始めて良かったです。

また、プロジェクトのサポートで印象深いのは哲学です。月一会議で匿名で私が提案したものに對して、中学生が乗っかってきてプロジェクト化しました。大学の授業でも哲学を知って、最初は軽い気持ちでサポートしていましたが、段々どういう場になっていきたのかをみんなで考えたいと思うようになりました。哲学の場ってあらゆる所にあると思うけど、のげ青では誰かが自分の知識をひけらかすのではなく、みんなの思いが合わさっていきものにしていきます。そんな中で参加しているメンバーが深く考えて発信していく中で、自分の持つ言葉が少しずつ増えていっているのを見るのができてとても嬉しいです。

清水里栄さん

### 中高生限定 ミュージックフェスタ

「のげ青に来る高校生をもっと増やしたい!さらには、のげ青の他のプロジェクトにも参加してもらいたい!」という想いで高校生がライブイベントを企画。当日は10バンドの出演者が集まり、来場者を含めると約100名が参加。ライブ目的で来場した高校生が、のげ青の他のプロジェクトに興味を持ち参加するなど、発案した高校生の想いを形にすることができました。



ミュージックフェスタの熱気あふれるライブ風景!